

大基委大評第 150 号

平成 26 年 3 月 17 日

神戸女子大学

学長 中島 實 殿

公益財団法人 大学基準協会  
会長 納 谷 廣



貴大学の「完成報告書」の検討結果について（通知）

標記に関し、本年度、貴大学よりご提出頂きました「完成報告書」につきましては、大学評価委員会において慎重な審議を行い、別紙の通り検討結果をとりまとめましたので、ここにご通知申し上げます。

添付資料 「完成報告書検討結果（神戸女子大学健康福祉学部）」

以上

## 〈 完成報告書検討結果（神戸女子大学健康福祉学部） 〉

### [1] 概評

2009（平成 21）年度の本協会による大学評価に際し、貴大学健康福祉学部は、評価資料を提出する 4 月段階において申請資格充足年度（標準修業年限＋1 年）を経ておらず、教育・研究活動に関する評価を十全には行えなかった。よって当該学部の完成時の状況を、完成報告書として取りまとめることを求めた。

今回提出された完成報告書からは、同学部は社会福祉学科と健康スポーツ栄養学科から成り、「健康と福祉を有機的に連携させ、より健康で生き生きとした幸せな生活が送れるようにする」ための人材を育成することを目的に開設されたことが確認できた。

カリキュラムは掲げられた教育目標をほぼ実現する教育課程となっている。全学共通で履修する「全学共通教養科目」を置いているほか、社会福祉学科においては福祉を学ぶ「基礎科目」、資格取得のための「専門科目」、福祉現場でのスキルアップにつながる「発展科目」などを置き、健康スポーツ栄養学科においては栄養士免許取得のための「栄養士資格に関する科目」、食についての知識を深める「ライフサイエンス科目」「健康福祉関連科目」などを設置している。地の利を生かして、ポートアイランドに位置する他の 3 大学との連携活動の一環として、「神戸ポートアイランド 4 大学連携単位互換科目」を履修できる仕組みも整えている。ただし、導入教育として、社会福祉学科の「社会福祉演習 I」、健康スポーツ栄養学科の「基礎演習 I、II」などを必修科目として設置しているものの、それらはいずれも専門教育への導入教育となっているので、大学教育への導入教育について、今後の検討が望まれる。

入学時・進級時の履修指導は相応に実施されているものの、資格取得に関わる指定科目が多いとはいえ、1 年間に履修登録できる単位数の上限は 58 単位と高いので、改善が望まれる。

ファカルティ・ディベロップメント（FD）活動や授業評価アンケート、シラバスの整備、成績評価基準の学生への明示等についても適切に実施されている。

定員管理については、学部全体としては入学定員に対する入学者数平均が 1.03 と適切であるが、学科ごとにみると、社会福祉学科は 0.88 と低く、健康スポーツ栄養学科は 1.24 と高くなっていることから、今後注意が必要である。

### [2] 今後の改善経過について報告を求める事項

なし

以 上